



申6号

南武線ワンマン運転実施に伴う詳細提案を 求める緊急申し入れ交渉実施

1. 南武線ワンマン運転実施に伴う詳細提案を行うこと。

会社回答：2023年11月に「南武線ワンマン運転について」の提案を実施し、2024年12月に「2025年3月ダイヤ改正および業務執行体制の見直しについて」の提案において実施時期等を示しており、改めて南武線ワンマン運転に関わる提案を実施する考えはない。また、具体的な提起があれば、「労使間の取扱いに関する協約（令和6年10月1日締結）」に則り取り扱うこととなる。

2. 本交渉を2月7日までに開催すること。

会社回答：具体的な提起があれば、「労使間の取扱いに関する協約（令和6年10月1日締結）」に則り取り扱うこととなる。

- (組) 「施策は労使で進める」という考え方は認識一致できるか。(会) 一致できる。
- (組) 詳細提案をしないことになった経緯は。(会) これまでの相模線・鶴見線と同じやり方で南武線でも実施した。
- (組) 施策の進め方に問題はなかったという認識でよいか。(会) 問題はない。
- (組) 労使議論をするための材料がない。たとえ答えられなかったものがこの場で示されたとしても時間的に反映できない。
- (会) ご意見は承る。
- (組) 2023年11月の南武線ワンマン運転についての提案は詳細に提案をしたという認識か。
- (会) 何を持って詳細というのか分からないが必要な提案をしたという認識。
- (組) 議論をする材料は足りているという認識か。(会) 疑義・質問があれば団体交渉に応じる。
- (組) ダイヤ改正前では示せないという回答があったと思うがプレス後になってどの場で示すのか。
- (会) 質問があれば回答する。
- (組) こちらが質問をしなければ答えないのか。(会) 質問があれば回答する。
- (組) 同じ申し入れをしるという事か。
- (会) 貴側からしていただくものでありこちらから申し入れをお願いすることはできない。
- (組) 我々と会社との思いが一致していない。それについてはどうか。
- (会) 詳細提案をするしないというところは一致出来ていないが、貴側から申し入れがあった際にそれを拒むということはない。
- (組) 会社は労使で誠意誠実に交渉をしないといけないと思うがどう考えているのか。申3号で乗車率が回答されていないがそれについてはどうか。
- (会) どの駅なのか、どの時間帯なのか、コロナ禍で出控えがあり、その先のことを一企業が予測は難しい。

YOKOHAMA MAIL NEWS



2025,02,07 No.034

- (組) モニターの件も議論が一旦中断したがそれについては。
- (会) 確定するまでどこまで示せるのかというのが難しかった。お示しできるところまで示させていただいたというところをご理解いただきたい。
- (組) 申6号の段階でモニターのメーカーも分からない、どういう経緯で導入したかも分からない、これが誠意誠実なのか。
- (会) 項目に入っていなかった。
- (組) 前回15分の中断で答えられるものについては項目に入ってた。それさえも答えない。本当に議論しようとしているのか、それが感じられない。決まっていないので回答できないではなく示せるものは示すべき。
- (会) 現時点では答えられないという回答になってしまう。実施前に100というのは難しい。
- (組) 今回の南武線ワンマンについては以前の相模線・鶴見線ワンマンの時に詳細提案していないからしないという事で良いか。
- (会) 以前、統括センターの提案をさせていただいたがそれと変わるものではない。
- (組) 最近は詳細提案という位置づけのものがないと思うが、提案の概念を変えたのか。
- (会) 何かやり方を変えたということはない。
- (組) 今後、概況提案、詳細提案の順に提案することはあるか。(会) 長期的なものならあり得る。
- (組) 南武線も長期的だと思うが、そもそもなぜ提案するのか。(会) 社員みなさんに周知しなければいけないので。
- (組) 周知して終わりではない。議論してそれを反映していくということで良いか。(会) はい。
- (組) 現状、労使議論する土俵にすら上がっていない。会社として労使議論していくということが理解できない。一方実施されているという認識だ。
- (会) ご意見は承る。会社として労使議論を否定するものではない。
- (組) 会社として労使議論をして合意しようとする姿勢はあるか。(会) 一緒にやっていく考えである。
- (組) ダイヤ改正とワンマンは別の施策であり、それぞれ別に提案するべきである。今の段階では組合員に説明ができない。
- (会) これまでの相模線・鶴見線のとおりと同じ方法。別に提案はしない。ダイヤ改正と一緒に実施日・実施内容をお知らせした方が分かり易い。
- (組) たまたま実施日が一緒というのもあると思うが、今回は首都圏初の長編成ワンマンという大きな施策だと思っている。これを具体的に示してくれと言っている。良い施策にしていくという気概が見えない。
- (会) 疑義・質問があれば答えていく。
- (組) 施策を良いものにしていくという思いがどちらかが欠けてもいけない。器量の問題である。
- (会) 会社として労使議論を拒むものではない。誠意誠実にやっていく。一致を目指す考えは変わらない。

労使議論は否定しないのに詳細提案はせず!?

一旦地本で持ち帰り検討することを通告!